

文化の香り高い魅力ある学校

第29回福島県建築文化賞 優秀賞を明和小学校が受賞



▲賞状を手にする目黒町長(右)と齋藤教育長(左)

第29回福島県建築文化賞の優秀賞に明和小学校が選ばれました。表彰式は1月14日に杉妻会館(福島市)で行われ、目黒町長が出席、佐藤雄平福島県知事などから賞状や記念品が手渡されました。

今回受賞した作品は、周囲の景観、自然環境との調和や気候・風土などに配慮し、機能性にも優れていると高く評価された施設などです。

目黒町長は、「明和小学校は、統合によって空校舎となった中学校を小学校の校舎として再生し、省エネルギーを実現した建物であり、山々に溶け込んだ景観とともに自然首都・只見にふさわしい校舎。今後も、こうした環境整備を図り、自分の住む町を誇りに思う子どもたちの育成に努めていきたい」と受賞の喜びを話しました。

栄養バランスを考えたレシピ本を贈呈

福島県食生活改善推進連絡協議会

福島県食生活改善推進連絡協議会(須釜千代会長)

から1月19日、只見高校3年生に、食育冊子「ひとりでも！クッキング」が人数分の53冊贈られました。今春、高校を卒業する3年生に栄養バランスのとれた食生活を送ってもらおうと贈られたもので、冊子は日本食生活協会が編集、料理の基本から主食の料理、おかず、野菜のメニューなどを分かりやすく紹介。一人暮らしでも気軽に料理ができる

定番レシピ本となっている。この食育冊子は、須釜会長、川合はる子南会津地区会長、只見町食改推進員の横山郁子さん、横山咲子さんが只見高校を訪れ、3年生代表の酒井喬也さんと、近藤亜梨沙さんに手渡されました。

同協議会は、只見高校のほかにも会津地方の県立高校4校に冊子を贈りました。みなさん、活用してくださいね。



▲贈られた冊子を手にする只見高校生と関係者

雪像づくりの安全を祈願

只見ふるさとでの雪まつり 雪運搬式

冬の大イベント「只見ふるさとでの雪まつり」には欠かせない大雪像などを作るための雪を会場に運び込む作業が開始された1月18日、雪まつり会場で雪運搬式が行われました。

意事項を述べ、全員で作業の安全を祈願しました。大雪像「タージ・マハル」の製作作業は1月24日から行われています。

運搬式には、雪運搬用ダンプ10台が並び、オペレーター13名と関係者が出席しました。はじめに、目黒町長が「安全に留意され、連絡を取り合いながら効率的な運搬作業をお願いします」とあいさつした後、酒井恵治環境整備課長が運搬の注



▲安全を祈願した雪運搬式

重要文化財を火災から守る 平成23年文化財防火デー

過去に法隆寺金堂の火災により国宝の壁画が焼損した日、1月26日を文化財防火デーと定め、全国的に防災活動が展開されています。只見町でも同日、国指定重要文化財の成法寺観音堂(梁取)と、県指定重要文化財の長谷部家住宅(叶津)で、防火査察が行われ、南会津広域消防署只見出張所と只見町消防団、成法寺護持会、教育委員会などの関係者が、各文化財の防火設備や防火対策の状況などを点検確認しました。

この活動を通し、文化財保護の意識高揚が図られました。町民の皆さんも、町の貴重な文化財を火災から守るため、ご協力をお願いします。



▲長谷部家住宅での防火査察

只見町豪雪対策本部を設置

年末からの豪雪により、1月21日、午前7時30分現在での只見町大字蒲生地内観測点の積雪深が2m43cmとなり、今後も雪が降り続くと、災害の発生や住民生活に重大な支障を来す恐れが予想されるため、同日午後5時10分「只見町豪雪対策本部」を設置しました。

【連絡先電話番号】

▽町民生活課

82-5100

▽只見地区センター

82-2141

▽朝日地区センター

84-2111

▽明和地区センター

86-2111

▽環境整備課

82-5270

▽山口土木事務所

82-5270

▽国道除雪関係

72-2234

今後は雪により、万一事故や被害が発生した場合には、只見・朝日・明和地区センターや役場町民生活課など、次の機関までご連絡ください。



▲役場に設置された看板と目黒町長

景気回復目指し前向きな取り組みを…

平成23年只見町新年交歓会

平成23年只見町新年交歓会が、1月5日に季の郷湯ら里で行われ、町内外から新年を祝おうと135名が出席、新年の抱負などを語り合いながら親交を深めました。

交歓会では、目黒町長と五十嵐拓町議会議長が年頭のあいさつを述べ、続いて、来賓の渡辺典雄福島県南会津地方振興局長と渡部勝博福島県議会議員から祝辞をいただきました。

次に、只見松楓会の皆さんによる謡で新年の門出を祝い、菅家俊一只見町商工会長の音頭で乾杯をし、祝宴に入りました。アトラクションには、はぎの会の皆さんにご出演いただき、新

春にふさわしい舞踊3曲をご披露いただきました。最後に、只見町社会福祉協議会長の五十嵐辰男さんが音頭をとられ万歳三唱をして、閉会しました。



▲新年を祝う乾杯

只見町消防団出初め式

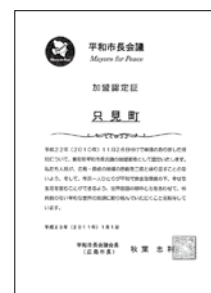
町民の生命と財産を守り生活の安定を…

1月9日、朝日地区センターで平成23年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「消防団員としての職責を全うする自覚を新たにされ、町民の安全を守るとともに、防火意識の高揚に努めてください」と訓示を

述べました。また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防に努めます。消防精神を堅持し、新たな決意をもって一層ご精進ください」と訓示を述べました。

参加した団員は、新たな気持ちで今年一年の無火災を誓い合いました。

核兵器のない平和な世界に… 只見町が平和市長会議に加盟



▲加盟認定証

核兵器廃絶の実現は、世界大多数の願いです。核保有国をはじめとする各国政府の政策を変え、核兵器廃絶に向けた世界の潮流を創り出していくため、世界の都市が連帯して取り組みを強めていくことなどを目的に1985年8月に第1回世界平和連帯都市市長会議が開催、平和市長会議という機構が設立しました。以後、様々な核兵器廃絶に向けた活動が行われており、昨年11月現在、世界で149の国や地域にある4300を超える自治体が加盟しています。

只見町は、平成23年1月1日付けで加盟、今後は世界の加盟自治体と連帯し、核兵器のない平和な世界の実現に向け取り組んでいきます。平和市長会議の会長は、秋葉忠利広島市長となっています。